

狭山市教育長 滝嶋正司 様

司書の復職で図書館のさらなる充実を求める要望署名

《要望主旨》

今春、狭山市立中央図書館では、長年の経験と図書館行政に精通した非正規職員36名中11名が希望に反して雇止め（解雇）されました。

雇止めにあった方々は、非正規（1年単位で反復雇用される「会計年度任用職員」と言います。）であっても、誇りを持って市民のために働き、図書館行政発展の一翼を担ってきました。図書館行政に必要な専門性や最長22年の勤務実績を軽視する今回の大量雇い止めは容認できません。また、非正規雇用の改善を求める社会動向に、狭山市の模範的使用者であるべき狭山市教育委員会が逆行しているとも言わざるを得ません。

4月には、新規会計年度任用職員の入れ替え、正規職員の人事異動もありましたが、狭山市の図書館業務に精通した職員の減少は否めません。結果として、現在図書館で働く職員への業務負担の増大、私たち市民の学ぶ・知る権利を下支えする業務や学校図書館業務支援の質も懸念されます。とりわけ、狭山市には「第3次狭山市子ども読書活動推進計画」があり、実施にむけて図書館行政の担い手を拡充すべき大事な時期であることから、市教育行政の視点でも実績ある職員配置の再考こそ必要です。

以上のことから、雇止めされた会計年度任用職員の働く権利を守り、長年の勤務で培われた専門性を狭山市民のために発揮できるように、下記のとおり要望します。

《要望項目》

- 2022年度末に中央図書館で雇止めにされた会計年度任用フルタイム司書の希望者を復職させ、狭山市 図書館行政をいっそう発展・充実させてください。

名 前	住 所

※この署名用紙は、要請以外の目的に個人情報を利用することは一切ありません。

【取扱団体】 狭山市図書館の充実と司書の雇用継続を求める会

連絡先 狭山地区労働組合協議会 メール toshoko10@gmail.com